

平成30年度鳥取大学

地域課題 研究成果報告会

in 米子

日時

平成30年
10月19日 (金)
16:30~18:00

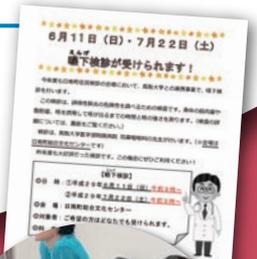
会場

米子コンベンション
センター 5F
第7会議室

テーマ：健康寿命の延伸

平成29年度 事業報告

鳥取大学では、地(知)の拠点整備事業による地域志向教育研究など、長年にわたって進めてきた地域連携の実績を踏まえつつ、地域の創生に貢献することを目的として「地域価値創造研究教育推進プログラム」に取り組んでいます。上記について、平成29年度に実施した事業の研究成果をみなさまにご紹介します。



16:30~16:40

開会挨拶

鳥取大学地域連携担当理事 法橋誠 / 鳥取県西部総合事務所所長 中山貴雄氏

16:40~17:15

発表①

「運動器健診の実施及びロコモティブシンドローム スクリーニング機器と運動器悪化予防プログラムの開発」

医学部 教授 萩野浩

米子市の一部や日野町では高齢化率が40%以上となり、ロコモティブシンドローム罹患率が他地区よりも高いことが過去の調査で明らかになりました。これを予防するには住民自らが運動器の状態を把握し、自分にあった適度な運動を行うことが重要です。本事業ではこれまでに得た疫学データを元に、スクリーニング機器と運動器悪化予防プログラムを開発することを目的として取り組みました。

連携先：米子市長寿社会課

17:15~17:50

発表②

「嚥下検診における高齢者の嚥下障害スクリーニング」

医学部 准教授 藤原和典

高齢化社会を迎え、嚥下(えんげ)障害から生じる誤嚥性肺炎に罹患する高齢者が増加しています。そこで本事業では、誤嚥性肺炎を未然に発見して発症予防を行うことで肺炎の罹患率を下げることを目的とし、日南町をフィールドとして検診に取り組みました。また、この検診を通して、嚥下障害及び誤嚥性肺炎について少しでも高齢者に理解していただくよう努めました。

連携先：日南町福祉保健課

17:50~18:00

地域価値創造研究教育推進プログラムの説明

鳥取大学地域価値創造研究教育機構副機構長 大場尚志

申込締切

10月17日 (水)

お申込み方法

メールに「お名前」、「ご所属名」をご記入の上、下記メールアドレスまで送信してください。

coc-plus.office@ml.adm.tottori-u.ac.jp

お問い合わせ先

〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101番地 TEL:0857-31-5922(担当:森田)

主催:鳥取大学 地(知)の拠点大学による地方創生推進室



鳥取大学
Tottori University



文部科学省

地(知)の拠点